

競争ルールの検証に関するWG（第30回）

事業者ヒアリング資料

2022/5/11

株式会社オプテージ

OPTAGE
What's next?



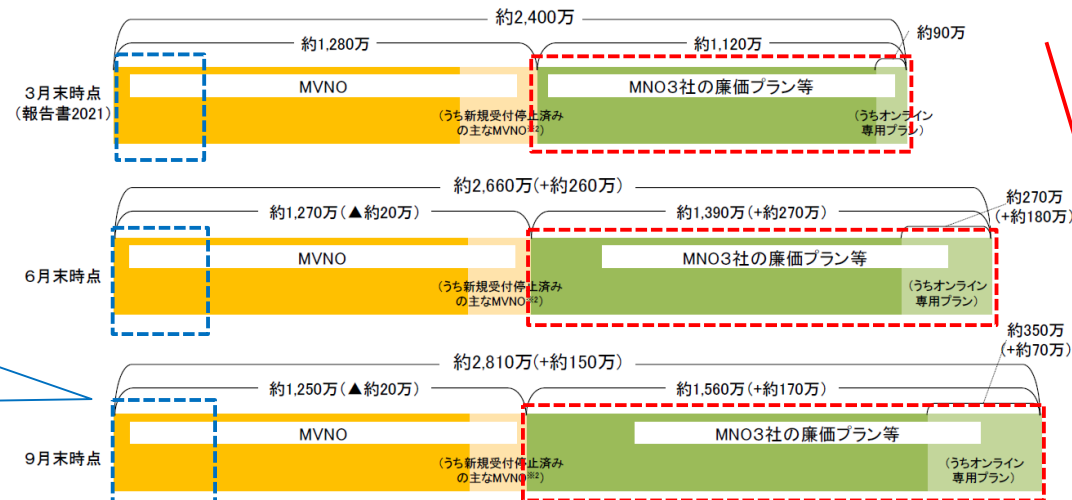
- **事業法改正以前よりシンプルで低価格・縛りのないメニューを提供（既往契約なし）**
- 社内関連部門や販売代理店において、都度適合性のチェックを行い、規律遵守を徹底
- 事業法第27条の3の規律は利用者利便を高める上で有効であるため、先般の覆面調査の結果等を踏まえ、引き続き各事業者が規律遵守に取り組むことが重要
- 一方で、**MNOグループと独立系MVNOでは事業規模に大きな差があるため**、同じ規制では相対的に独立系MVNOに影響が大きい。**公正競争環境を確保するため、独立系MVNOに対する規律の一部緩和が有効ではないか**

利用者の動向（通信モジュール等を除いた契約数：2021年9月末）②

6

➤ MVNO契約数の内訳を詳細に見れば、新規受付停止済の主なMVNOを除いた契約数は、MNO3社の廉価プラン等提供開始後の2021年6月末、9月末とも増加している。

携帯電話契約数（MVNO及びMNO3社の廉価プラン等）（通信モジュール等を除いた契約数※1）



シェア0.7%以上の
独立系MVNO
(IJJ・オプテージ)

**MNOのサブブランドや
オンライン専用プランの
契約数が短期間で
大幅増**

⇒低～中容量帯にお
いても、MNOが大きな
市場影響力をもつ

**MNO3社のシェア
約89%（メインブランド・
オンライン専用プラン等合計）**

※1 MNOは携帯電話契約数から通信モジュールの契約数を除いたもの。
MVNOは契約数3万以上の事業者からの契約数報告のうち携帯電話・SIMカード型のサービスの契約数。
いずれもMNOのグループ内取引による契約数の重複等を排除・調整している。
契約数の数値は10万未満で四捨五入しているため、合計と内訳等の計は必ずしも一致しない。
※2 楽天モバイル（MVNO）及UQモバイル

（出典）電気通信事業報告書（2021年）及び7月事業報告書の報告

総務省「競争ルールの検証に関するWG（第25回）」（2022年1月18日）資料1より引用

- 「速さよりもデータを多く使えるプランが欲しい。」というニーズに応えるべく、混雑時間帯の通信を控えていただく代わりに、おトクにデータ使い放題となる新プラン「マイそく」を2022年3月より提供開始

＼ わたしの「ちょうどいい」 /

マイピタ

1GB

5GB

10GB

20GB

通信速度で選ぶデータ無制限プラン

マイそく

ほとんどのスマホ
利用ができる
最大1.5Mbps

さらに快適な
最大3Mbps

中～低速だけど
使い放題！

	マイピタ	【New】マイそく
概要	データ容量でお選びいただくプラン	通信速度でお選びいただくプラン
月間データ容量 ()内は月額料金 ※税込価格	【音声通話＋データ通信】 1GB (1,298円) 、5GB (1,518円) 、10GB (1,958円) 、 20GB (2,178円) 【データ通信のみ】 1GB (880円) 、5GB (1,265円) 、10GB (1,958円) 、 20GB (1,925円)	無制限
通信速度 ()内は月額料金 ※税込価格	MNO各社の提供する速度と同様 (例) Dプラン LTEの場合、受信速度最大112.5Mbps	【音声通話＋データ通信】【データ通信のみ】 スタンダード：最大1.5Mbps (990円) プレミアム： 最大3Mbps (2,200円) いずれのプランも月～金の12時～13時は最大32kbps

- 全プランの音声サービスを**卸から接続（プレフィックス自動付与機能）に変更**
 - ドコモプラン：2021年12月、ソフトバンクプラン：2022年1月、KDDIプラン：2022年2月に導入
- まずは利用者の期待の大きい「**専用アプリ不要**」・「**業界最安水準**」の**新たなかけ放題サービス（10分、時間無制限の2種）を提供開始**（2022年3月～）

専用通話アプリ
なしで！
(トリプルキャリア対応)

音声通話し放題

業界
最安水準！

かけ放題

10分かけ放題	時間無制限かけ放題
月額 550円 (税込)	月額 1,210円 (税込)

(税込価格)

オプション	10分かけ放題	時間無制限かけ放題
月額基本料金	550円	1,210円
ご利用開始翌月から 最大11カ月間	440円(▲110円)	990円(▲220円)
内容	10分以内の国内通 話が定額で何度でも かけ放題※	国内通話が定額で 何度でもかけ放題

※10分超過後は、国内通話料11円/30秒

弊社サービス解約理由

音声ニーズは根強く、音声サービスを携帯事業者の選択基準にされている方が一定程度存在していた

構成員限り

新かけ放題サービスにおけるお客さまの反応

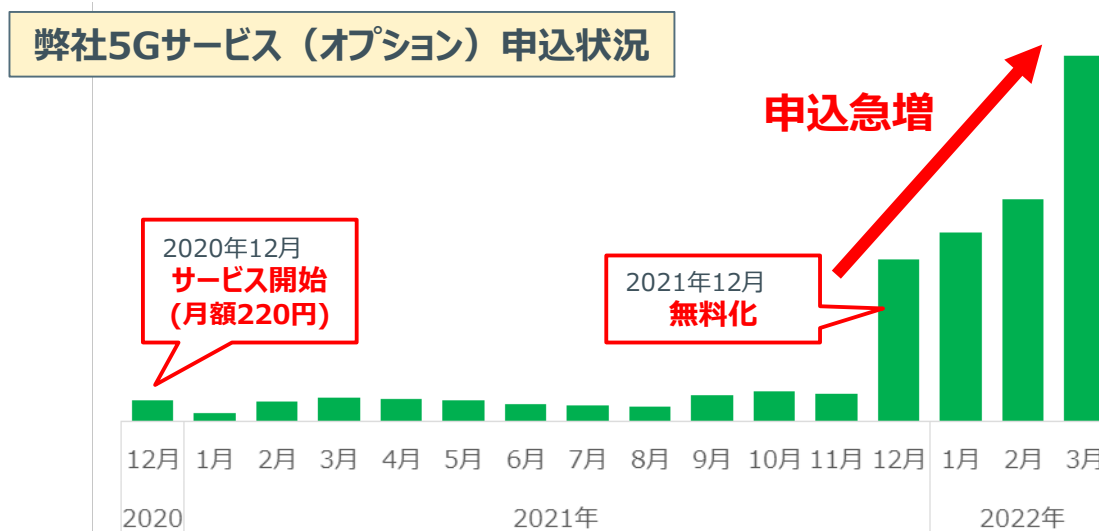
概ね価格面に魅力を感じていただいている様子で、歓迎のお声を多く頂戴している状況

構成員限り

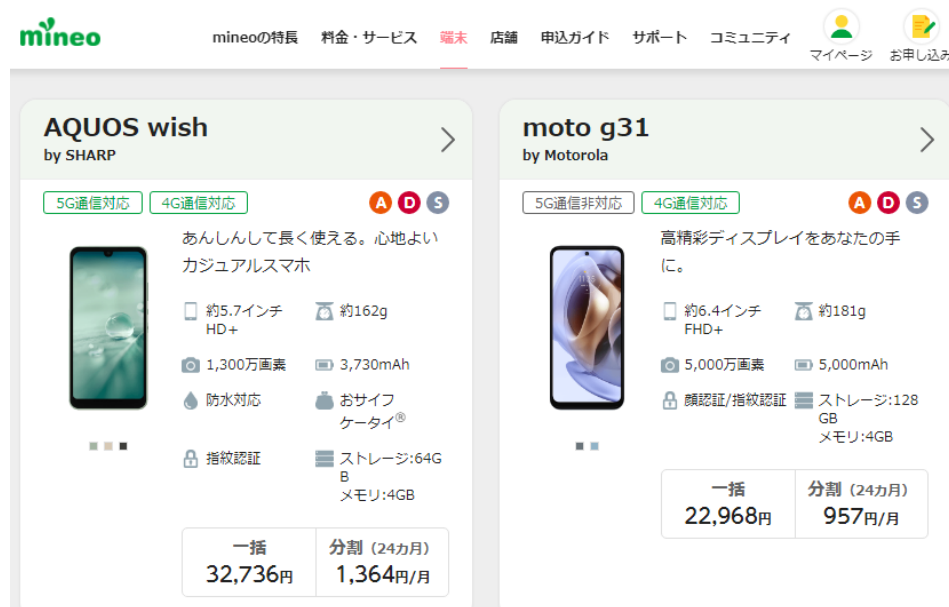
- 報告書2021以降も各社から新料金プランや値下げが発表される等、モバイル市場の競争はさらに激しくなっていると認識
- 弊社からの転出は楽天モバイル様が最も多い状況で、MVNOにとっては大きな脅威と認識。モバイル市場において公正な競争が行われているか、引き続き注視いただきたい
- 2021年度に入り既存MNO 3社についても、オンライン専用プランが台頭し、メインブランド・サブブランド共、弊社からの転出がそれぞれ増加傾向。引き続き、「接続料の算定等に関する研究会」で検討されているモバイル分野のスタックテスト等、MNOとMVNOとの間のイコールフットINGの確保について、さらに推進いただきたい

構成員限り

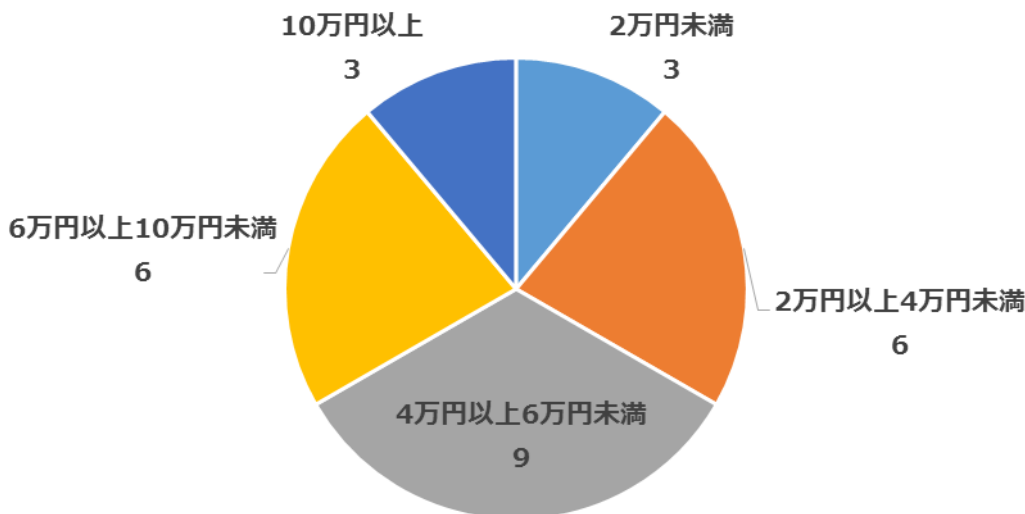
- 2020年12月より5Gサービス（NSA方式・オプションサービス）を提供中
- 今後5Gエリアの拡大や新たなサービス普及に伴い、5Gニーズが増大すると想定。これにより、大容量プランのニーズも高まるものと想定
- 今後は5GSAによる機能を活用することで、超高速通信や同時多接続通信を用いたIoTサービス等、**「MVNOならではの」「弊社ならではの」の特色のある独自サービスを創出し、利用者に新たな価値提供を行う所存**
- 5GSAサービスの早期提供を目指し、MNO各社と協議を実施中。**卸役務の提供義務等に関する法制度化において、5GSA機能に関する卸提供も織り込んで**いただきたい。また、電波の公平利用確保の観点から、**MNO各社への周波数割当てや再割当てにおいては、5GSA機能に関するMVNOへの卸役務提供の状況を勘案**いただくことが重要



- 事業法改正以前より、自社端末販売の他、持込端末の継続利用についても推奨する等、端末の多様な買い方や使い方に幅広く対応
- 端末販売については各メーカーのSIMフリー端末を市場調達。**SIMフリー端末が充実しつつあり、以前よりは利用者の幅広いニーズに応えやすくなっている**
- サービス開始当初より**オンラインでの販売が中心**。2021年9月以降の端末販売台数は全体的に低調（詳細は16頁に記載）。また、中古端末については現在取り扱いしていない



販売中のスマートフォン端末機種数の価格帯別割合



現在販売中のスマートフォン端末27機種
内、5G対応端末18機種（67%）

※2022年4月13日時点（入荷待ちの端末も含む）

- MNOショップや量販店等において店頭表示価格1円等での端末販売が増加している状況については、本WG（第26回）資料3で報告された事例と同様の内容を弊社ユーザーからも聞き及んでいる状況
- 実質的に回線契約者のみにしか販売されないのであれば、事業法27条の3の重大な違反のおそれがあることから、競争上の影響が大きく、また、利用者の誤解や不利益につながることを懸念。実際の端末販売に関しては適切な説明や告知・受付がされるように徹底されることが重要
- メインブランドの回線契約とあわせて端末を購入後、販売店でその場でオンライン専用プランへの移行を受け付ける事例も伺っており、オンライン専用プランの獲得に伴う営業費用をメインブランドで負担している懸念がある。オンライン専用プランの販売に関する営業費については丁寧な検証が必要ではないかと思料
- 店頭のみで大幅値引きを実施していることは各社の戦略ではある一方で、利用者利便の向上や通信と端末の分離のさらなる適正化を推進するためには、オンラインにおいても同様の施策実施がされることが望ましいのではないか

構成員限り

ヒアリング事項に対する回答

ヒアリング事項	弊社回答
通信・端末の分離に係る規律の遵守	
規律を遵守するために、具体的にどのような取組を実施しているか。	● 弊社では事業法改正以前よりシンプルで低価格、契約期間等に縛りのないメニューを提供しております。 ● 弊社内の関連部門に対して、改正法やガイドライン等について説明を行い、規律を遵守徹底するよう周知・教育を行っております。また、お客さま対応サポートシステムにおいても規制の解説や注意点を参照できるようにするなど、システム面の対応も行っております。 ● 新プランやキャンペーン等の施策検討のタイミングで都度規律との適合性をチェックしております。
規律を販売代理店に遵守させるために、貴社として具体的にどのような取組を実施しているか。	● 販売代理店独自の施策等は行っておりませんが、規律の遵守のため、販売代理店の責任者に対して、規律の説明及び遵守徹底するよう周知を行っております。
既往契約の解消	
既往契約の解消のためにこれまでに実施した取組の具体的な内容及びその結果としての解消状況はどうなっているか（事業法第27条の3第2項第1号に適合しない契約及び同項第2号に適合しない契約それぞれについて）。	● 弊社では事業法改正以前より改正法に適合した料金プランを提供しておりましたので、改正法の施行に伴う料金プランの見直しを実施しておりません。このため、既往契約が存在せず、移行のための取組は実施しておりません。
（既往契約が残存している場合）今後、解消を更に進めるために具体的にどのような取組を予定しているか（解消目標時期等）。	● 上記の通り、弊社では既往契約は存在しておりません。

ヒアリング事項	弊社回答
その他	
規律に関して課題と考えていることはあるか。	● 本WG（第25回）資料1「最近のモバイル市場の動向（報告書2021公表後の主な動向）」ではMNO3社の廉価プラン等が、2021年9月末時点で既にMVNOの契約者数を上回っていることが示されました。MNOのサブブランドやオンライン専用プランが短期間で契約数を増加させたことは、MNOがMVNOと比べて非常に大きな市場影響力を有していることが改めて示されたところかと認識しております。 ● 事業法27条の3の規律は、利用者利便が高める上で有効であるため、先般の覆面調査の結果等を踏まえ、引き続き各事業者が規律遵守に取り組むことが重要であると考えます。 ● 一方で、その禁止行為の規律の適用を受ける事業者について、利用者の割合が0.7%（≒100万利用者）の独立系MVNO事業者も対象とされているところ、MNOグループと独立系MVNOでは事業規模に大きな差があるため、同じ規制を双方に課すと相対的に独立系MVNOに影響が大きく、競争力低下につながるおそれがございます。公正競争環境の確保の観点から、市場影響力の小さい独立系MVNOに対しては事業法27条の3の規制を緩和いただくことも有効ではないかと考えます。

ヒアリング事項

弊社回答

全体

報告書2021以降、新たに実施した料金・サービスの見直し（料金の値下げ、新プランの開始、新たな割引メニューの開始、月間通信容量の増加等）は、どのようなものがあるか。

- 2022年3月より新プラン「マイそく」を提供開始いたしました。
（主な特徴）
- 通信速度で選ぶデータ無制限プラン（音声通話付き）
- 月曜から金曜の12時～13時、または直近3日間で10GB以上ご利用時は、通信速度が最大32kbpsとなる代わりに、月間のデータ容量制限が無いデータ使い放題プラン
 - スタンダード（最大1.5Mbps） 月額990円
 - プレミアム（最大3Mbps） 月額2,200円
 ※1回330円で速度制限なく、24時間データを使い放題となるオプション有

モバイル市場の現状についてどのように評価しているか。特に、報告書2021以降のモバイル市場の環境変化についてどのように捉えているか。

- MNO、サブブランド、MVNO各社から新料金プランや値下げが発表される等、モバイル市場の競争はさらに激しくなっていると認識しております。
- 弊社からの転出は楽天モバイル様が最も多い状況であり、MVNOにとって、楽天モバイル様は大きな脅威であると認識しております。この点、モバイル市場において不当な競争を引き起こしていないか、引き続き注視いただくことを要望いたします。
- 既存MNO 3社のプランも大きな脅威であると認識しております。特に2021年度に入り、オンライン専用プランの登場に加え、メインブランド・サブブランド共、それぞれ増加傾向にあります。この点、「接続料の算定等に関する研究会」で検討されているモバイル分野のスタックテスト検討等、MNOとMVNOとの間のイコールフットingの確保について、さらに推進いただくことを要望いたします。

当該環境変化を踏まえた、戦略（料金、サービス等）、今後の見通しは、どのようなものか。

- 消費者の皆様には選ばれるために、より魅力的でMNOとは異なる独自価値のあるサービスの創出していくことが重要であると考えています。
- その一つとして、前述のデータ使い放題プラン「マイそく」を2022年3月より提供開始しております。

ヒアリング事項	弊社回答
音声通話料金	
報告書2021以降、音声通話料金について、どのような見直し（従量制料金や定額プラン、割引メニュー等）を行ったか。それに対する利用者の反応はどのようなものか。	● 2022年3月より2種類の新たなかけ放題サービスを提供開始いたしました。（主な特徴） ● 専用アプリ無し（標準通話アプリ）で利用可能 ● 業界最安水準の料金。1年間はキャンペーンでさらに割引 ➢ 10分かけ放題：月額550円（11カ月間は▲110円） ➢ 時間無制限かけ放題：月額1,210円（11カ月間は▲220円） ● かけ放題サービスの導入にあたっては、利用者の皆様からの声を伺い、まずは期待の大きい低価格のかけ放題サービスを実現しました。サービス開始以降は、概ね価格面に魅力を感じていただいているようで、歓迎のお声を多くいただいております。 ● 今後もさらなる料金負担の軽減や、お客さまの利便性向上といった観点で、引き続き、お客さまニーズに即したサービスを提供の検討に努めたいと思います。

ヒアリング事項

弊社回答

5Gプラン、大容量プラン

現在の5Gプラン、大容量プランの提供状況はどのようなものか。また、今後の考え方や課題はどうか。

- 現在は、小～中容量プランでの競争が活発化している状況となっているものの、今後は5Gサービスの普及に伴いリアルタイムの映像配信といった動画サービス等の利用が増加するため、大容量プランのニーズが高まっていくものと想定しております。
- 弊社では2020年12月より5G通信を提供しておりますが、利用者ニーズに合わせるべく、2021年12月よりオプション料金を無料に変更いたしました。（旧220円）無料化後、5G通信オプションの申し込みが大幅に増加しております。
- 弊社は今後、5GSAによる機能を活用することで、超高速通信や同時多接続通信を用いたIoTサービス等、「MVNOならではの」「弊社ならではの」の特色のある独自サービスを創出し、利用者に新たな価値提供を行う所存です。
- このため、5GSAサービスの早期導入を目指し接続方法やスライス利用等について、MNO各社との具体的な協議を進めていきたいと考えております。この点、事業者間協議が活性化するよう、卸役務の提供義務等に関する法制度化において、5GSA機能に関する卸提供も織り込んでいただくとともに、適切に事業者間協議が実施されているか注視いただき、課題等が確認された場合は、制度整備や施策実現等の取り組みを推進いただくことを要望いたします。また、電波の公平利用確保の観点から、MNO各社への周波数割当てや再割当てにおきましては、MNOからMVNOへの5GSA機能に関する卸役務提供の状況を勘案していただくことも重要であると考えます。

ヒアリング事項	弊社回答
全体 報告書2021以降の端末販売の状況（販売台数の推移、価格帯別（低・中・高価格帯）販売台数の割合、チャンネル（店舗、オンライン）ごとの販売台数の割合）はどうなっているか。	● 弊社の販売状況は下記グラフの通りです。2021年9月以降の端末販売台数は全体的に低調となっております。 構成員限り ● 弊社端末販売チャンネルは、オンラインが中心となっております。報告書2021以降もチャンネル別の販売割合に大きな変化はございません。 構成員限り

構成員限り

ヒアリング事項	弊社回答
全体	
端末市場の現状についてどのように評価しているか。特に、報告書2021以降の端末市場の環境変化についてどのように捉えているか。	● SIMフリー端末でも、高機能高価格端末から廉価端末まで取り揃えられるようになり、端末購入の選択肢が増え、利用者の幅広いニーズに応えられやすくなったことを歓迎しております。MVNO利用のお客さまは基本的には節約志向のお客さまが多いことから、特に、2万円未満の廉価端末のニーズが増加しているものと捉えています。 ● MNO各社において最新端末の安値販売については承知しており、弊社端末販売数の減少にも一定程度影響があるものと考えておりますが、通信サービスプランや、弊社端末のラインナップや、弊社が実施するキャンペーン等も関係するため、直接的な要因となっているかは掴みにくい状況でございます。

ヒアリング事項

弊社回答

最新端末の安値販売

MNO各社において最新端末の安値販売が広く行われているという指摘があるが、どのように評価しているか。

- MNPや新規契約に限定しない端末割引という形で、MNOショップや量販店等において店頭表示価格1円等での端末販売が増加している状況については、本WG（第26回）資料3「総務省情報提供窓口に寄せられている電気通信事業法第27条の3関係の通報の状況」と同様の内容を弊社ユーザーからも聞き及んでおります。この点につきましては以下の懸念をしております。
 - 実質的に新規回線契約者のみにしか販売されないのであれば、事業法27条の3の重大な違反のおそれがある
 - 販売条件等の但し書きが小さいため、割引適用の条件が複雑な場合は、利用者の誤解や不利益につながらないよう、利用者が仕組みを十分理解できるような十分な説明がなされていないおそれがある
- この点、実際の販売に際し、MNPや新規契約以外での端末購入について、適切な説明や告知、受付が実施されているか確認いただくことが重要かと考えます。また、メインプランへの回線契約とあわせて端末を安値で購入後、販売店でその場でオンライン専用プランへの移行を受け付ける事例も伺っております。オンライン専用プランの獲得に伴う営業費用をメインブランドで負担しているおそれがありますので、オンライン専用プランの営業費については競争上不当な行為が実施されていないか、検証いただくことが穏当ではないかと考えます。
- オンラインでは上記端末販売を実施せず、店頭のみで実施していることは各社の戦略ではある一方で、利用者利便の向上や通信と端末の分離の更なる適正化を推進するためには、オンラインにおいても同様の施策が実施されることが望ましいと思料いたします。
- また、これまで取り組みが進んできた「通信と端末の分離」から回帰し、再びMNO各社による過度な端末割引等が実施されることで、市場競争に歪みが生じるおそれがございますので、総務省殿においては、引き続き、拘束的な提供条件の撤廃等、「通信と端末の分離」のさらなる推進をお願いいたします。

ヒアリング事項

弊社回答

5G端末

報告書2021以降の5G対応端末の取扱い・販売状況はどのようなものか。特にミリ波対応端末についてはどうか。

- 5Gには期待感があるものの、現状ではまだ5Gが中心ではなく、実際には4Gでの利用が中心であると考えております。このため、弊社では、安心して使っただけのことを念頭に、4G/5Gと意識した端末採用はしておらず、幅広く端末を取り扱っております。ただし、弊社では端末の自社開発は行っておらず、各メーカーのSIMフリー端末の調達を行っているため、実態的には各メーカーの5G対応が増加に伴い、弊社でも5G対応端末の取り扱いが増加しております。
- ミリ波対応端末についてはSIMフリー端末がほぼ存在しないことから、現在弊社での取り扱いはございません。今後市場ニーズの高まりに応じて、取り扱いを検討していきたいと考えております。

中古端末

中古端末の取扱いの状況はどうか。今後の見通しはどうか。

- 現在、弊社での中古端末の取り扱いはございません。
- 今後の中古端末の取り扱いについては、市場状況等を鑑みて検討いたします。

